

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ろび2		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・言語聴覚士による、言語訓練を取り入れている	・言語聴覚士からの指導を受け、言語聴覚士が不在の時にも全職員が支援できるようにしている ・言語聴覚士と職員との情報共有を密にすることで、支援に繋がっている	・言語聴覚士の研修や職員研修を取り入れていき、質の向上を図る
2	・保護者と密に連絡を取り、情報共有している ・保護者から相談しやすい環境を整えている	・送迎時やLINEなどでこまめに連絡を取るようになっている ・職員間の情報共有を密にすることで、全職員が状況等を理解している環境を作っている ・相談から雑談まで色々な話をするようになっている	・情報共有の手段として、動画や写真を活用していく
3	・日々の活動が固定化しないように工夫している ・一人一人に合った、支援を考え実行している	・同じ活動の中であっても、課題が各々違うため児童によって取り組む作業を変えている ・児童の課題を考慮し、活動内容を考えている	・活動内容の幅を広げていくために、職員研修等を行っていく ・以前に行った活動であっても、児童が飽きないように工夫をしていくとともに、楽しいと思えるような工夫をしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との連携や交流がなかった	・どのように繋がっていけばいいのかなどの知識不足	・近隣の施設等への訪問やイベントへの参加などを検討していく
2	・保護者同士の交流機会が少なかった	・保護者会の開催や保護者参加のイベントが少なかった	・イベントの企画や茶話会の企画などを行っていく
3	・避難訓練などの周知が徹底されていなかった	・訓練等は行っていたが、保護者への周知が不十分だった	・毎月のカリキュラムに記載していく